

**平成29年度 浜松市立高等学校
インターナショナルクラス選抜実施要領**

インターナショナルクラス設置の目的

学ぶ意欲と能力のある外国人に、その持てる力を最大限発揮することのできる高等学校を用意し、将来、母国と日本の「架け橋」となり、「世界都市・浜松」の発展に寄与する人材を育成する就学システムを整備する。

選抜の基本方針

一般選抜生徒と同程度の学力を持ち、本校卒業後、日本の大学又は母国の大学への進学を目指すことを目標とし、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定し、合格者を決定する。

第1 実施課程・学科・募集人員

全日制の課程・普通科・20人程度

第2 志願方法

1 志願資格

入学を志願することができる者（以下「志願者」という。）は、本校への入学を第1志望（合格した場合は必ず入学する）とし、日本又は母国の大学進学を希望する者で、中学校長が人物等で積極的に推薦できる者とし、次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、かつ、(4)に該当する者とする。

- (1) 平成29年3月に中学校又はこれに準じる学校（以下「中学校」という。）を卒業見込みの者
- (2) 中学校を卒業した者（以下「中学校卒業生」という。）
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者
- (4) 外国籍を有する者

なお、学校教育法施行規則第95条第5号の規定により、志願資格の確認を求める場合は、事前に本校校長に問い合わせ、その指示を受けること。

2 志願することができる学科及び通学区域

- (1) 志願することができる学科
本校全日制の課程、普通科
- (2) 通学区域（以下「学区」という。）
特に設けない。

3 受付期間

入学願書及び受検願等(浜松市立高等学校学則第11条に定める第1号様式による)の受付期間は、次のとおりとする。

平成29年1月16日(月)から平成29年1月18日(水)正午まで
受付時間は、午前8時30分から午後4時30分とする。

郵送により提出する場合は、書留・親展で、平成29年1月18日(水)正午までに必着のこと。また、その場合、事前に本校校長と連絡をとること。

郵送(書留・親展)による受付

必ず本校に電話で問い合わせること。

ア 受検票交付のための返信用封筒の用意

返信先住所・氏名(中学校等)を明記し、392円(定形郵便・簡易書留)分の切手を貼付した返信用封筒(長形3号(定形郵便))を同封する。遠距離の場合は、速達とする。(速達料金280円分切手を追加貼付)

イ 合格通知書等送付のための返信用封筒の用意

返信先住所・氏名(中学校等)を明記し、710円(定形外郵便・簡易書留・速達)分の切手を貼付した返信用封筒(角形2号)を同封する。

4 志願の手続等

- (1) 志願手続きの前に(特に県外、海外の方に)

ア 「入学願書」、「納付書(納入通知書兼領収書)」等の請求

「入学願書」、「納付書(納入通知書兼領収書)」等については、本校独自の様式を使用するので、中学校等を通して本校へ請求する。本校から中学校等宛に「入学願書」、「納付書(納入通知書兼領収書)」等を送付する。送料は着払い又は後納とする。

請求先：浜松市立高等学校

郵便番号 432-8013 静岡県浜松市中区広沢一丁目21-1

電話番号 053-453-1105、FAX 053-452-9478

メール：ichiritsu-h@city.hamamatsu-szo.ed.jp

イ 請求方法

請求者の

中学校名・担当者氏名

郵便番号・住所・電話番号

願書等の必要部数

送料の支払い方法

(着払い・後納(切手送付・出願時現金支払い))

等を明記し、郵便・電話・FAX・メール等で請求する。

(2) 志願者による手続き

ア 中学校卒業見込みの者

志願者は、次の書類等を、出身中学校長(特別支援学校の校長を含む。以下同じ。)を経由して本校校長に提出する。

入学願書(浜市高様式第9号)

入学検定料 2,200円

交付する納付書(納入通知書兼領収書)により指定された金融機関(納付書に記載)に現金を納入する。納入通知書兼領収書(コピー可)を入学願書の裏面に貼付する。

一度納入した入学検定料は、出願しなかった場合を除いていかなる場合も返さない。

志願理由書(浜市高様式第10号)

イ 中学校卒業者

志願者は、次の書類等を、出身中学校長を経由して本校校長に提出する。ただし、高等学校を入学年度の1月1日以降に退学(第2学年以上の退学を含む。)した者は、退学した高等学校の校長を経由して本校校長に提出する。

入学願書(浜市高様式第9号)

入学検定料 2,200円

交付する納付書(納入通知書兼領収書)により指定された金融機関(納付書に記載)に現金を納入する。納入通知書兼領収書(コピー可)を入学願書の裏面に貼付する。

一度納入した入学検定料は、出願しなかった場合を除いていかなる場合も返さない。

本人の写真1枚

上半身正面脱帽で、大きさは縦3cm、横2.4cmとし、平成29年1月1日以降に撮影したもの。裏面に氏名を記入する。

志願理由書（浜市高様式第10号）

ウ 学校教育法施行規則第95条の各号のいずれかに該当する者
上記イに準ずる。

エ 欠席等の状況について説明することを希望する者

上記ア、イ又はウの者において、欠席日数及び適応指導教室等への通所等により出席扱いとなっている日数の合計が、第3学年で概ね30日以上又は3年間で概ね90日以上のもので、欠席等の状況について説明することを希望する志願者は、自己申告書（浜市高様式第4号）を提出することができる。

自己申告書は志願者本人が記載し、厳封の上、中学校長に提出する。なお、その際、封筒の表に「自己申告書」と朱書するとともに、中学校名、志願者氏名を明記する。中学校長は、他の出願書類と共に本校校長に提出する。

(3) 中学校長等による手続き

ア 中学校卒業見込みの者又は中学校卒業者（下記イ以外の者）の場合

中学校長は、志願者から提出された上記(2)の書類等のほか、次の書類を本校校長に提出する。

調査書（浜市高様式第1号）

入学志願者通知書（浜市高様式第2号）

成績一覧表（浜市高様式第3号）

ただし、中学校卒業者の場合は、提出する必要はない。

推薦書（浜市高様式第11号）

イ 高等学校在学者又は高等学校中途退学者の場合

高等学校在学者は、現に在学する高等学校を退学して出願しなければならない。

(ア) 高等学校を入学年度の12月31日以前に退学して出願する場合

出身中学校長は、志願者から提出された上記(2)のイの書類等のほか、次の書類を本校校長に提出する。

調査書（浜市高様式第1号）

入学志願者通知書（浜市高様式第2号）

(イ) 高等学校を入学年度の1月1日以降に退学（第2学年以上の退学を含む。）して出願する場合

当該志願者が退学した高等学校の校長は、志願者から提出された上記
(2)のイの書類等のほか、次の書類を本校校長に提出する。

調査書（過年度に提出されたもの）の写し

高等学校における学習と行動の記録（浜市高様式第5号）

入学志願者通知書（浜市高様式第2号）

(4) 本校校長による措置

入学願書等を受理した場合は、受検票を交付する。

5 県外（海外を含む。）からの志願

(1) 志願資格

第2の1に同じ。

(2) 添付書類等

県外からの志願に際し、上記4の(2)及び(3)に示す書類等に、次の書類を添付する。

ア 本人が県外の公立高等学校を併願しないことを証明する書面

「併願しないことの証明書」（浜市高様式第6号）。

イ 身元保証承諾書（浜市高様式第16号）ただし、身元保証人が必要な場合のみ。

(3) 提出書類の特例

外国において、学校教育における9年の課程を、平成29年3月までに修了した者又は修了見込みの者が志願する場合は、上記4の規定にかかわらず、次のとおりとするほか、本校に問い合わせるその指示を受ける。

ア 上記4の(3)のアの の調査書は、成績を証明する書類及び出席状況を記録した書類をもって代えることができる。

なお、これらの書類は、日本文以外でもよい。

イ 上記4の(3)のアの の入学志願者通知書及び の成績一覧表は、提出する必要はない。

第3 調査書及び成績一覧表

1 調査書の作成等

(1) 調査書の作成

中学校長が作成する。

- (2) 県外の中学校卒業見込みの者の場合
提出する調査書の様式については、原則として本校の様式により、中学校長が作成する。
- (3) 調査書作成委員会
調査書（浜市高様式第1号）の作成に当たっては、中学校長は校長を委員長とする調査書作成委員会を設け、記載内容の信頼性、客観性を一層高め、的確に記載しなければならない。

2 成績一覧表の作成

- (1) 県内及び県外の中学校卒業見込み者の場合
原則として本校の様式（静岡県と同じ）により、中学校長が作成する。
- (2) 中学校卒業者の場合
作成する必要はない。

3 その他

- (1) 本校校長は、調査書その他中学校長が提出した書類の記載内容について、中学校長の説明を求めることができる。
- (2) 調査書その他中学校長が提出した書類の重大事項について、記載が適切でなかったときは、合格発表後であっても再審査を行うことができる。

第4 学校選択資料及び健康診断

1 学校選択資料等

学校選択資料として面接及び総合問題を用いる。

- (1) 対象者
志願者全員
- (2) 実施会場
浜松市立高等学校
- (3) 実施期日及び日程
平成29年2月1日（水） 筆記試験 9:00～10:30
面接 11:00～
- (4) 内容及び方法（配点）
ア 総合問題

総合問題は、論述形式の問題等により、中学校までの学習内容を踏まえ、主として、これらを総合的・応用的に活用する能力、理解力、思考力、表現力をみるものとする。

「国語（30点）・数学（30点）・英語（40点）」（100点満点）

- ・国語は、現代文と古文から構成。
- ・国語を除き、漢字にルビをふる。

イ 面接

面接は、調査書の記載事項及び志願理由書と関連して、志願者の学習及びインターナショナルクラスへの関心・意欲・態度や適性をみる質問及び校内外における活動状況、進路、趣味、特技等に関する質問に対して、口答により行う。

面接形式は、日本語で、1人当たり15分程度の個人面接とする。

(5) 総合問題及び面接における遅刻者の扱い

総合問題開始から30分以内の遅刻は、別室にて受検を認めるが、それ以上の遅刻は認めない。

面接での遅刻も開始から30分以内とし、特別な理由がない限り認めない。

(6) 追検査

追検査は実施しない。

2 健康診断

健康診断は、本校において特に必要と認めた場合に限り、浜松市教育委員会の承認を得て実施することができる。

第5 選抜

1 選抜委員会

選抜は、校長を委員長とする選抜委員会において、厳正に行う。

2 選抜手順

校長は、選抜の基本方針に基づき、調査書、推薦書、学校選択資料の結果等を総合的に審査して、合格者を決定する。

第6 合格者の発表

1 発表日

平成29年2月7日(火)正午以降(ホームページ上でも受検番号発表)

2 合格通知書等の交付

校長は、合格者に対し、合格通知書(浜市高様式第7号)を交付し、中学校長に対し、入学者選抜結果通知書(浜市高様式第8号)を交付する。

3 交付の手続き

交付は、来校し直接受け取る方法と、郵送で受け取る方法がある。

(1) 中学校から願書が提出された場合

中学校教職員が「委任状」を持参し、受取書に署名・押印のうえ、合格通知書等を受け取り、本人に手渡す。

(2) 郵送又は本人から願書が提出された場合

ア 直接受領を希望する場合

遅くとも午後2時までには、本人が直接来校し、受検票を示し、受取書に署名・押印のうえ、合格通知書等を受け取る。本人以外が受け取る場合は、委任状(参考様式)を持参する。

「入学者選抜結果通知書」は中学校長宛のものなので、これを受け取った者は必ず中学校長に渡す。

イ 郵送を希望する場合

「入学者選抜結果通知書」の郵送を希望する中学校は、出願時に文書(様式自由)をもって、書留(簡易)郵便料分の切手及び封筒を添えて本校に申し出る。(第2・4・(1)参照)

4 その他の書類等の配布

「入学の手引」「物品購入等案内」等は、2月21日(火)午後2時から行うオリエンテーションで配布する。詳細は合格者に通知する。

第7 合格者となった者の一般選抜への出願

インターナショナルクラス選抜において合格者となった者は、一般選抜に出願することはできない。

第8 障がいのある志願者に対する配慮

障がいのあることで、特別の配慮を希望する志願者は、「受検上の配慮願」(浜市高様式第17号)を、中学校長を経由して本校校長に提出する。提出に当たって

は、中学校長が配慮の必要性を判断し、配慮内容の妥当性について記載した資料(診断書及び中学校での学習・生活の様子等についての説明書(様式自由))を添付する。

提出期限：平成29年1月13日(金)

本校からの「受検上の配慮通知」(浜市高様式第18号)は1月23日(月)までに中学校長を經由して通知する。

第9 気象庁から「東海地震に関連する情報」が発表された場合の措置

「東海地震注意情報」が発表された場合は、入学者選抜に関する一切の業務を停止する。再開については問い合わせる。ホームページ等にも掲載する。

第10 入学者選抜に係る情報の提供及び開示

平成29年4月1日以降、学力検査の結果等について、受検者本人から請求があった場合には、これを提示するので、受検票を紛失しないように保管する。

1 学力検査結果の開示

(1) 受検者本人が、受検票を提示し、直接本校へ申し出て開示請求ができる期間及び時間

平成29年4月1日から4月30日までの土曜日・日曜日・祝日を除いた午前8時15分から午後4時45分まで、本校事務室にて提供する。

受検者本人が受検票を提示するとともに、請求願に氏名等を記入し、請求する。

なお、本校に入学した生徒については、入学後別途請求方法や日時等を指定する。

(2) 親権者等の法定代理人が請求する場合は、浜松市個人情報保護条例に基づく手続きをする。

2 その他資料等の開示

入学者選抜に係る情報の開示等取扱要綱による。

制定：平成28年10月1日